

本を「よむ」 本に出「あう」 Yomu Au

中学生向け図書館だより

2022年7月（第5号）発行：加須市立図書館



本を読むのは何となく苦手だなと思っている君。

読書は分厚い小説や難しい言葉がぎっしりつまった本を読むことだけではありませんよ。まずは、自分が興味を持っているものや好きなことを探してみましょう。きっとその先に本との素敵な出会いが待っていますよ。

図書館は君と本との橋渡しをします！

Let's go to the Library!



中学生のみなさんにおくる 図書館員 おすすめの 12 冊

『しくじりから学ぶ』

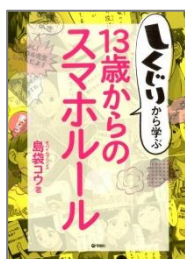
13歳からのスマホルール』

島袋 コウ／著 旬報社

学校の宿題、ネットからのコピペで大丈夫？ SNS への書き込み、炎上の危険性はない？

私たちの生活に欠かせないインターネットとスマホ。便利だけど使い方を間違えると加害者にも被害者にもなるのがネットの怖いところです。

本書では実際の「しくじり例」を紹介し、インターネットを楽しく安全に使う方法を豊富なイラストとともに伝授します。



『地球以外に生命を宿す 天体はあるのだろうか？』

佐々木 貴教／著 岩波書店

太陽系の中に、生命を宿す可能性がある天体は4つあります。太陽以外の恒星にも、たくさんの惑星があることが分かってきました。特に、ここ10年の観測結果で「地球型」と呼ばれる種類の惑星が「銀河中を埋め尽くすほど大量に」あることが分かり、研究者たちもわくわくしています。

最新宇宙科学のロマンがつまっている、読みやすい入門書です。



『世界一くさい食べもの』

小泉 武夫／著 筑摩書房

世界には想像を絶するくさい食べものがたくさんあります。

たとえば世界一くさい缶詰といわれる「シュール・ストレミング」は、脱ぎたての靴下の60倍のにおいがあり、部屋の中で開けようものなら呼吸困難におちいるほどと言われています。

なぜそんなものを食べるのでしょうか？
その理由や食べた時の感想など、くさい食べもののディープな魅力を紹介します。



『なんで信長はお城を建てたの？』

畑中 英二／著 にしざか ひろみ／画

新泉社

侵入してきた敵を狙う仕掛けだらけのお城を案内してもらいながら、中1のホタカは、城の攻略について想像し、敵を心理的にも追い込むような工夫に驚きます。

いくつかのお城を訪ね、地域の人や訪れた人とお城や歴史について話したり、発掘作業に参加したりするうちに、ホタカはお城に興味を持ち、自分の進路についても考え始めます。



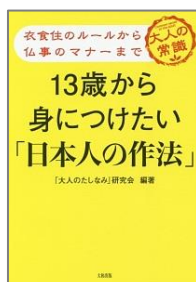
『13歳から身につけたい 「日本人の作法」』

「大人のたしなみ」研究会／編著

大和出版

日本の伝統的な礼儀や作法には、よその家を訪ねた時の挨拶の仕方や座り方、お見舞いに持って行くものや行く時期など、気を付けたほうがよいことがたくさんあります。

日本人として、状況や場面に合わせたふるまいができるよう、この本を参考に実践してみたいかがでしようか。



『食べものが足りない！』

井出 留美／著 手塚 雅恵／絵 旬報社

世界中の10人に1人が飢餓で苦しんでいます。人口の60%が飢餓状態の国があります。あと30年で、世界人口は25%増える見込み。インドでは、温暖化の影響で小麦の収穫量が20%減りました。

世界中で食べ物が足りていません。でも、世界の食べ物の3分の1がそのまま捨てられています。

SDGsのために、ひとりひとりができることを考える本です。



『君色パレット』

ちょっと気になるあの人
戸森 しるこ、ひこ・田中、^{よし}吉田 桃子、^{もち}
魚住 直子／著 ^か佳奈／絵 岩崎書店

対物性愛者だという事を告白し、
クラスで特別な存在となっている
タピ岡こと谷岡。日傘をキョウコさん
と呼び、自分の彼女だといいま
す。可能な限り一緒にいたのに、あ
る日、キョウコさんが砂浜に放置さ
れていたうえ、持ち手部分に、ある
言葉が刻まれている
のが見つかって…。

このほかにも、生
き方の多様性につ
いて考えるお話が3話
収められています。



『美術館って、おもしろい！』

モラヴィア美術館／著 阿部 賢一、
須藤 輝彦／訳 河出書房新社

美術館では、絵や彫刻^{ちやう}を展示して
いるだけではありません。ワーク
ショップ・講演会・ガイドツアーな
どを通して、展示作品に親しめるよ
うになっています。

また、美術館で作品が展示される
までには、学芸員だけでなく、いろ
いろな人の仕事関わっています。

この本では、多くのイラストと共
に、美術館の歴史や
裏側の仕事、展覧会を
開くまで等を^{しょうかい}紹介して
います。



14^{さい}歳の世渡り術

『わたしの外国語漂流記』

河出書房新社／編 河出書房新社

日本語や英語に限らず、世界には
多くの言語が存在します。

学ぶきっかけも、学び方も、必要
度も、職業も異なる25人が、伝わっ
たり伝わらなかったりで一喜一憂^{ゆう}
しながら努力し、目的の言語を少しず
つ身につけていきます。

外国語を学ぶこと
で、自分が当たり前
だと思っていた世界
がぐぐっと広がるよ
うな、新しいことに
チャレンジしたくな
る本です。



『目で見ることばで 話をさせて』

アン・クレア・レゾット／作
横山 和江／訳 岩波書店

19世紀、ボストンの南にある島
には、耳の聞こえない人が多く住ん
でいて、耳の聞こえない人も聞こえ
る人も当たり前のように手話を
使って会話をしていました。

そこに住むメアリーは、島を訪れ
た科学者に耳の聞こえない原因を
究明するという名目で、
連れ去られてしまいます。

差別や偏見^{へんけん}のある世
界からメアリーは無事
に^ぬ抜け出せるでしょう
か？



『本当の「頭のよさ」って なんだろう?』

さいとう 齋藤 孝／著 誠文堂新光社

本当の「頭のよさ」とは「頭のはたらきがいい状態」を増やすこと！

では、どうしたら頭のはたらきをよくすることができるのでしょうか？

本書は学校生活や受験など身近なテーマを題材にしながら、勉強と人生に役立つものの考え方や困難を乗り越える力をわかりやすく教えてくれます。普段の生活だけでなく、壁にぶつかった時にも役立つ1冊です。



『北里柴三郎』

しば ちくま ほう 海堂 尊／著 筑摩書房

明治時代、近代化を目指す日本を強力な感染症が襲い、多くの人が亡くなりました。

当時、日本の医療制度の近代化に尽力したのが北里柴三郎です。ドイツ留学からの帰国後は、対立する学者の妨害にあいながらも、福沢諭吉の支援を受けて伝染病研究所を作り、細菌学の発展に努めました。

使命感に燃えて突き進む北里の生涯に心が熱くなります。



貸出中の本や、ここにのっていない本も予約・リクエストできます。

図書館には、中高生向けのコーナーや特集もあります。

課題図書あります

読書感想文コンクール
の課題図書は、6～8月は
貸出期間が8日間です。
夏休みの宿題対策などに
図書館を役立ててください！



家読(うちどく)のススメ

家読(うちどく)とは、家族で同じ本を読み、感想を話し合うこと。読む本は絵本でも小説でもなんでもOK！

読んで、話してみよう！

お母さん、
この本
面白かったよ

この場面、
どう思った？

このセリフが
すごく好き！

【問い合わせ】

- | | | |
|----------------|-----------|-----------------|
| ● 加須図書館 | 中央2-4-17 | 電話：0480-61-8200 |
| ● 騎西図書館 | 根古屋633-10 | 電話：0480-73-3178 |
| ● 北川辺図書館 | 麦倉1473-1 | 電話：0280-62-4400 |
| ● 童謡のふる里おとね図書館 | 琴寄597-1 | 電話：0480-78-2211 |

☆図書館WebサイトURL：<https://www.library.kazo.saitama.jp/>